

§ ワクチン関連トピックス

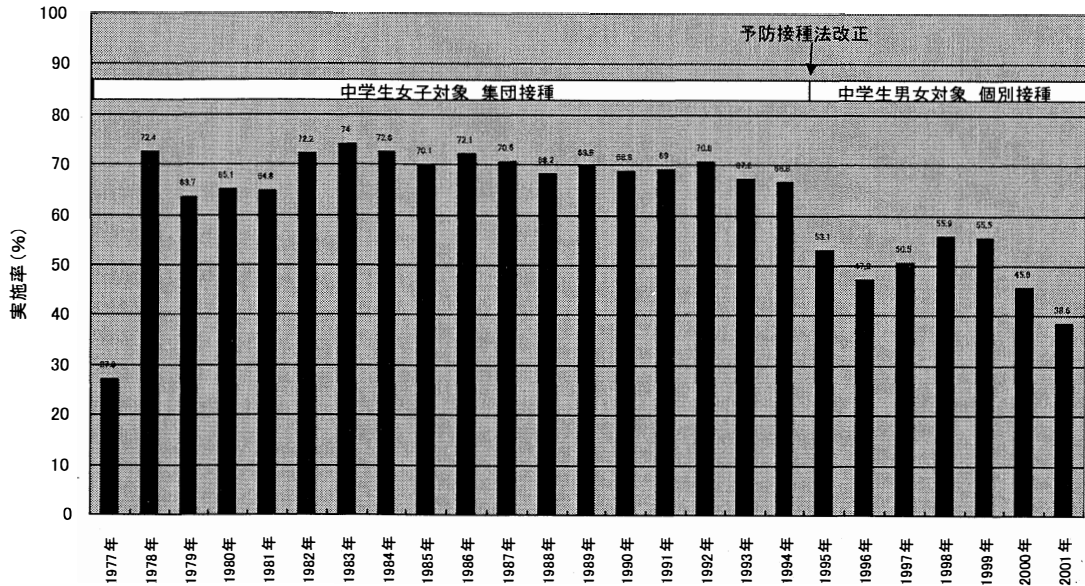
トピックス I

『風しんワクチンを受けましょう』

経過措置分の風疹ワクチンの接種率が極めて低い

ため、対象者（昭和54年4月2日から昭和62年10月1日生まれの男女全員）は是非この機会を逃さないように接種を受けましょう。今年9月30日までの暫定措置です。

中学生に対する風しんワクチン実施率（1977～2001年）（厚生労働省）



IASR 2003年3月号より

（関連情報）風疹および先天性風疹症候群（CRS）の予防の強化、2001～2002年—ブラジル（IASR Vol.23(7) p.181-182, 2002より：WHO、WER、77、No.21、169、2002抄訳）

1992年からブラジルの27州でMMR（麻疹・おたふくかぜ・風疹混合）ワクチンあるいはMR（麻疹風疹混合）ワクチンが徐々に導入され、1992～2000年の間にMMRワクチンは1～11歳の約95%に接種された。それに伴い、風疹の年齢別報告数は思春期後半～成人群に次第にシフトしてきた。1998～2000年に20～29歳を中心とした風疹の流行が起こったためにワクチン接種が推進され、Paranaでは1998年には15～39歳の女性の86%に、Rio Grande do Norteでは2000年に12～49歳の女性の72%にワクチンが施行された。ワクチン導入にさきがけた調査によると、15歳以下の小児の3%にCRSによる難聴が認められたとの報告があり、さらに、CRS報告数も1999年の38例から2000年の78例へと増加傾向にある。

そのため、風疹およびCRSを予防するためにMRを用いた予防接種計画を施行した。第1期は13の州

で、12～39歳の女性1,500万人を対象に2001年11月に実施され、95%の接種率であった。第2期は2002年6月15日～7月5日の間に、11の州で12～39歳の女性1,200万人を対象に行われる予定である。